

ひとり暮らし高齢者世帯への訪問販売から 「地域とのつながり」

社会福祉法人 以和貴会
ワークサポートセンター今人

□活動テーマ

ひとり暮らし高齢者世帯への個別訪問販売からはじまった「地域とのつながり」

□活動開始日

平成28年10月

□活動の対象者

ひとり暮らし高齢者世帯・高齢者世帯と地域住民



写真① 関屋近住自治会集会所

□活動実施の背景、実施に至った理由

地域イベント（関屋カーニバル、関屋まちづくり協議会主催）のお誘いを頂き、準備からイベント開催までを共にしたことが大きなきっかけとなり、パン販売活動をツールにして、近隣自治会とのつながりが少しずつ創られていき、地域の民生委員や香芝市社会福祉協議会の方々と連携する中で、ひとり暮らし高齢者の各家庭への訪問販売を開始することとなりました。

・関屋カーニバル参加

平成28年6月11日

平成29年6月4日

□実施内容

①地域イベント時にひとり暮らし高齢者世帯への個別訪問販売（安否確認）

民生委員、利用者、職員

・近住まつり参加

平成 28 年 10 月 23 日

平成 29 年 10 月 22 日

②ひとり暮らし高齢者世帯へ電話連絡での注文受付（安否確認）

利用者、職員

平成 28 年 11 月 1 日～

③関屋近住自治会集会所にて定期販売（月に 2 回）

利用者、職員

平成 29 年 1 月 12 日～

□活動の効果

関屋近住自治会集会所で行われている老人会（関屋むつみ会）での月 2 回の販売が開始しました。自治会とコラボした旗（写真②）や掲示板にて地域に広がり、たくさんのパンを購入して頂いております（写真③）。また、近住自治会主催の近住まつりへの参加にもつながり、祭り当日、隣のブースにて模擬店をされていた地域の病院（関屋病院）スタッフとのつながりもできてきました。病院内でも、平成 29 年 1 月より月 1 回の販売が開始しております。

地域イベント時は備品の貸し借りをを行い、助けられるだけでなく、できるところは手伝い、助け、共に協力し合い、地域との交流を深めており、平成 29 年度の近住まつりには「子ども達の買いやすいパンを！」という意見をいただき、ハンバーガーを作り販売を行い、お客様のニーズに合わせた商品作りも心がけております。

販売を通してたくさんの地域の方との出会いがあります。休日にご家族で出掛けていたご利用者に、電車の中で偶然会った老人会の方が「いつもパン売りに来ているね、ありがとう」「またおいしいパン持って来てね」と声を掛けて下さいました。ご家族の方は「私たちの知らないところでこの子を知ってくれている人がいてうれしい、この子も仕事を頑張っているのだと感じた」と喜ばれております。

また、先日の老人会イベント（平成 29 年 9 月 21 日）では、以和貴会ゆらくの里のメンバーによるよさこい演舞を発表する機会をいただきました。かしばよさこい祭りを前に、毎日練習している踊りを発表することにより、ご利用者の祭りへの参加意欲の向上、心の準備、そしてなによりも新たなつながりの輪の形成となりました。発表したご利用者はもちろんですが、笑顔と活気があふれた老人会の様子に、職員も嬉しさと感動を感じました。



(左) 写真② 自治会とのコラボした旗

(右) 写真③ 集会所での定期販売の様子



□今後の展開

現状の取り組みについては更なる充実を図っていきます。「販売場所の拡大 = 働く場の増加」となり、必然的にパンの売上が上がります。さらに仕事が増えたことで、ご利用者の活動の場が増えます。地域に出ること、またそのつながりを持ち続けることが、地域における施設の役割であると考えております。

この活動により、確実にご利用者と地域住民とのつながりが出来てきており、そのつながりを今後はさらに広げ、活動を継続していきたいと願っております。

今後さらにつながることを楽しみとして、地域住民の方々と、顔を合わせてのお付き合いを続けさせていただき、以和貴会ができることを精いっぱいしていきたいと考えております。